



「えちご関川踊りた〜い」の皆さんが、役場特設ステージ前でよさこいソーランを披露。国際ボランティア学生協会のチームも加わり、華やかな踊りでまつりを盛り上げました。



羽越水害殉難者供養祭



勇壮で迫力ある龍泉太鼓



忠誠とおりの



喜っ喜大会では、予選を勝ち抜いた16人が特設ステージへ。地元関川村の須貝俊一さん（中東）が熱戦を制しました。

大蛇伝説発祥の地「おりのの碑」の前で、まつりの安全を祈願。その後、ミニ大蛇パレードが行われました。



夏の夜空を彩る花火大会



まつりのフィナーレには恒例の福まきが行われました。その後、大蛇のお祓いが行われ、今年のまつりも締めくくられました。

たくさんのご寄付
ありがとうございました

大蛇パレード浄財

二十万七千九百二十二円

花火大会・大盆踊りへのご寄付など

*まつりに参加した皆さん、たいへんお疲れさまでした。

学生の皆さんが 今年もまつりを 盛り上げてくれました 国際ボランティア学生協会 (IVUSA)



まつりに 参加して

国際ボランティア学生協会(IVUSA)
大したもん蛇まつりプロジェクトリーダー
原田浩一さん

大したもん蛇まつりに参加させていただいて、大蛇は関川村そのものだと感じました。村民みんなで担ぐことで、あんなに大きい大蛇を動かすことができる。村もみんなで担ぐからこそ永遠に動かせる。そう思ったとき、大したもん蛇まつりの大切さをあらためて感じました。

今年も国際ボランティア学生協会(IVUSA)の皆さんが、大したもん蛇まつりの応援に駆けつけてくれました。平成十六年から始まったこの交流も今年で五年目。年々参加者が増え、今回は百四十

六人の若い力が村を盛り上げてくれました。今年も、大したもん蛇まつりの手伝いのほか、地域の茶の間での交流や高齢者世帯、福祉施設などの手伝い、河川敷公園フラワーパークの美化



大したもん蛇まつりの大蛇パレードでは担ぎ手としても参加し、若いパワーを發揮。

平成16年の豪雨で荒れた「フラワーパーク」をきれいにしてくれました。



活動などを行い、関川村に活気をもたらせてくれました。学生の皆さんは声をそろえて「また来年関川村に来ます」と、約束してくれました。



孫の手ボランティアでは、高齢者世帯の畑のお手伝い。



写真は、2003年の「咲いたまつり」でのパレードのようす。約300人の村民の皆さんが、さいたまスーパーアリーナで迫力あるパレードを行いました。

10月12日(日)は さいたま市でパレードじゃ蛇

担ぎ手のお申し込みはお早めに

十月十二日、さいたま市で開催される「咲いたまつり二〇〇八・日本のまつり」に参加する「大したもん蛇パレード」の担ぎ手を募集いたします。おかげさまで大勢の皆さんから申し込みをいただきましたが、まだ担ぎ手が不足している状態です。当日は、昨年さいたま市へ嫁入りした六代目の大蛇で盛大にパレードを行い、関川村をアピールしたいと考えています。

*当日の詳しい内容については、参加申し込みされた皆さんに直接ご案内しますので、ご確認をお願いいたします。

【10月12日(日)の日程】

- 5:30 貸切バスで役場を出発
- 11:00 さいたまスーパーアリーナ到着(昼食)
- 12:45~ パレード(10分間)
- 16:45~17:15 イルミネーションパレード
- 19:00 貸切バスでさいたま市を出発(夕食)
- 24:00 関川村役場到着(解散)